

生きる技術は、
あらゆる物事を多角的な視点から
読解・表現・共有することの
循環と重層から育まれる。

地域のコンテクストを緻密に読み解き、
領域に捉われない
アートプロジェクトを編みあげ、
記録・アーカイブすることで未来へとつなぐ。

それらのプロセスを通して、
生彩な「知の地層」を生みだしていく。



奈良県立大学「実践型アートマネジメント
人材育成プログラム CHISOU」では、
アートプロジェクトの実践を通して学び
合い、答えのない時代を生きる技術を育
みます。読解・表現・共有のプロセスを
幾重にも重ねながら、芸術文化領域を横
断するアートプロジェクトを、多角的か
つ総合的にマネジメントするための技法
を実践的に身につけます。

3年目となる2022年度は、「創造的な共
有」をテーマとして探求を深めるプログ
ラムを開講します。基礎編のレクチャー
シリーズでは、多彩な講師陣とともに、
時空を超えて共有するための技と思想を
学び合います。実践編の3つのプログラム
では、それぞれプロジェクトチームを編
成し、アートプロジェクトを企画・制作・
実施するなかで、記録や記憶の継承、
アーカイブについて考察し、創造的な共
有のあり方を編みだすことを試みます。

年齢や経験、学生・社会人など所属を問
わず、文化芸術や地域創造に関心のある
誰もが受講できるプログラムです。みな
さま、奮ってご参加ください。

受講者の声

アートは好きだけど、見るだけでなく、つくり手の一員になりたい。そう思っていたところ、ネットでCHISOUのことを知り参加しました。今は会社に勤めながら、休みの日はアートイベントにスタッフとして参加することも。同僚には驚かれますが、仕事でも趣味でもない、自分のやりたいことを見つけられたと感じています。 照喜名恵（2021年度受講／ダイキン工業 社員）	アーティスト・イン・レジデンスをサポートする仕事をしているので、アーティストが地域とどのように関係をつくっていくのか、そのプロセスを見たいと思い参加しました。多様な受講者がそれぞれの持ち味を活かし合い、楽しみながらアートプロジェクトを編みあげていくCHISOUならではの手法に多くの気づきがありました。 北村良子（2021年度受講／公務員）	学生の頃、社会課題を解決するアートについて研究するなかでアートマネジメントに興味を持ち、CHISOUに参加しました。アーティストとの対話から、どんな視点で、どう考え、どのように作品づくりを進めていくのかを学びました。各地の芸術祭に関わる仕事に就いた現在も、当時の受講ノートを見返すことがよくあります。 米田陣（2020年度受講／アートフロントギャラリー 社員）
--	---	---

美大でも芸大でもない大学の学生で、アートマネジメントについて学びたかった私にとって、CHISOUはうってつけの講座でした。受講者はアート関係の人ばかりかと思いましたが、学生はもちろん会社員や公務員など様々な方がいらっやして、そこでの学び合いがアートマネジメントに対する捉え方を広げてくれました。
櫻井莉葉（2020年度受講／秋田公立美術大学大学院修士課程）

一緒に受講していた人と同じ大学院に進学したり、また別の受講者の作品づくりをお手伝いすることになったりと、CHISOUに参加しなければ得られなかった出会いの機会を頂きました。現在はアーティスト・イン・レジデンスについて研究していますが、CHISOUで学んだことが大きく影響していると感じます。
室津日向子（2020年度受講／秋田公立美術大学大学院修士課程）

実施期間

2022年7月～2023年2月
講座回数 | 実践編A、B、Cとも全8回程度
(月1～2回程度の実施)
※別途、基礎編(全9回)は全受講者が共通して受講します。

実施場所

チソウ ラボ
奈良県立大学 CHISOU lab.を中心とする
奈良市内の文化施設
※実践編A、B、Cとも天理市や宇陀市など、奈良県内での移動を伴う実習が含まれます。
※新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、オンラインシステムでの実施に変更する場合があります。

定員

実践編A、B、Cとも各5名程度

受講料

無料 ※実習場所までの移動に伴う交通費は受講者負担

※講座の様子はカメラやビデオ等により記録撮影し、ウェブサイトや報告書、広報物等に掲載させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

申込方法

以下の必要事項を記入の上、下記「問い合わせ」のメールもしくはウェブサイトより、お申し込みください。
①氏名 ②住所 ③電話番号 ④メールアドレス ⑤年齢 ⑥所属先 ⑦実践編A、B、Cのうち受講を希望するプログラム名 ⑧応募動機(文字数自由／実践編Cの受講を希望する場合は、ご自身のテーマと表現活動の内容についてもご記入ください)

応募期限

2022年6月20日(月)

選考方法

応募者多数の場合は、応募動機等を参考にCHISOUスタッフにより受講者を決定します。
※新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、レクチャーやミーティングはオンラインシステムでの実施に変更する場合がありますが、対面で参加する意思のある方を優先して選考します。
※選考結果は6月30日(木)までに個別にご連絡します。

問い合わせ

奈良県立大学 CHISOU lab.
〒630-8258 奈良県奈良市船橋町10 奈良県立大学 地域交流棟3F
Tel 0742-93-5296 (平日のみ)
Email arts-management@narapu.ac.jp
Web <https://narapu-chisou.jp>
Facebook @chisou.lab Instagram @chisou_lab

「知の地層」を 生みだそう

受講者募集

奈良県立大学 実践型アートマネジメント人材育成プログラム

レクチャーシリーズ

知を重ね、層をつなぐ、技と思想



多彩な芸術文化の研究者や実践家をお招きし、歴史や社会における様々な事象について、時空を超えて共有するための技と思想を学び合います。実践編A、B、Cの受講者が共通して受講する講座です。実践編と並行して開講し、レクチャーを通して得た知見や技法を、実際のアートプロジェクトで活かしながら、具体的な方策を見いだしていきます。



講師

橋本梓（キュレーター／国立国際美術館主任研究員）、高橋裕行（キュレーター／多摩美術大学非常勤講師）、多田智美（編集者／株式会社MUESUM代表／株式会社とく社共同代表）、西尾美也（美術家／奈良県立大学准教授）、福住康（美術評論家／秋田公立美術大学准教授）、柳沢英輔（音楽人類学者／京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科特任助教）、山城大督（美術家／映像作家／京都芸術大学専任講師）、山田修（コンテンツ・アーカイブ／奈良県立大学特任教授）

カリキュラム表

2022年 7月	7月24日（日）オリエンテーション
	8月6日（土）レクチャー（高橋裕行）
	9月10日（土）レクチャー（山田修）
	9月18日（日）レクチャー（橋本梓）
	10月16日（日）レクチャー（柳沢英輔）
	11月13日（日）レクチャー（山城大督）
	12月3日（土）レクチャー（福住康）
	12月10日（土）レクチャー（多田智美）
2023年 2月	2月26日（日）ふりかえりミーティング

アーティスト創造演習

語り／言葉



古来より創造と共有のための重要なメディアである「語り／言葉」をテーマに、アーティストの長坂有希と受講者、スタッフによるプロジェクトチームを編成し、多領域の研究者や実践家と協働しながら、2年にわたり奈良で長坂が展開してきたアートプロジェクト「Ethno-Remedies: Bedtime Stories ⇄ A Life's Manual」を実践します。植物にまつわる生きる技術と知恵に着目したフィールドリサーチと「図鑑」の制作を通して、時空を超えて共有していくことを試みます。

講師

石倉敏明（人類学者／秋田公立美術大学准教授）、長岡綾子（グラフィックデザイナー）、西山厚（仏教史／東アジア仏教文化研究所代表／奈良国立博物館名誉館員／帝塚山大学客員教授）、前田知里（植物民俗研究家／里山文庫）、ラナシンハ・ニルマラ（観光社会学／奈良県立大学准教授）

カリキュラム表

2022年 8月	8月13日（土）ワークショップ（前田知里）
	9月11日（日）トーク（西山厚）
	10月8日（土）トーク（石倉敏明）
	10月23日（日）ワークショップ（前田知里）
	11月－1月 企画構想ミーティング
2023年 2月	2月12日（日）図鑑完成記念イベント&トーク（石倉敏明、長岡綾子）

※諸事情によりイベントの日程が変更になる場合があります。 ※日程不記載のイベントについてはアーティストや受講者、関係者と調整の上、決定します。

アーティスト創造演習

装い／身体

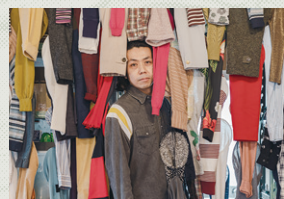


古来より創造と共有のための重要なメディアである「装い／身体」をテーマに、アーティストの西尾美也と受講者、スタッフによるプロジェクトチームを編成し、多領域の研究者や実践家と協働しながら、装いの共有空間「DATSUEBA」を拠点にアートプロジェクトを実践します。これまでの西尾による芸術活動を衣服に転換し、日常の装いを更新しながら、時空を超えて共有していくことを試みます。

アーティスト

西尾美也（美術家／奈良県立大学准教授）

1982年奈良県生まれ、同在住。装いの行為とコミュニケーションの関係性に着目したプロジェクトを国内外で展開。ファッションブランド「NISHINARI YOSHIO」を手がける。近年は「学び合いとしてのアート」をテーマに、様々なアートプロジェクトやキュレトリアルワークを通して、アートが社会に果たす役割について実践的に探究している。



講師

小川さやか（文化人類学／立命館大学教授）、福岡網恵（モデルリスト／京都精華大学特任講師）、松岡慧祐（社会学／奈良県立大学准教授）、山崎明子（視覚文化・ジェンダー論／奈良女子大学教授）

カリキュラム表

2022年 8月	8月14日（日）トーク（福岡網恵）
	9月－10月 企画構想ミーティング
	10月29日（土）プレゼンテーション講評会（小川さやか）
	11月20日（日）プレゼンテーション講評会（山崎明子）
	12月 企画構想ミーティング
2023年 1月	1月 成果発表

表現演習

共在／多感覚



多様な思想と経験を有する受講者一人ひとりが創造的な表現者となる状況に向けて、多領域の研究者や実践家と対話を重ねながら、受講者それぞれが自らのテーマに即した表現活動を実践します。受講者は展覧会やワークショップなどの成果発表を共同で開催することを通して、多感覚を介して異なる価値観を共有し合う場をつくることを試みます。

※同時期にケニア在住のジェームズ・ムリウキをレジデントアーティストとして招聘します。ムリウキはリサーチや制作を行い、成果発表に参加します。新型コロナウイルス感染症や政府による入国制限の状況に基づいて来日の可否を判断するため、中止や変更が生じる可能性があります。

講師

金セッピョル（文化人類学・映像人類学／総合地球環境学研究所特任助教）、国枝かつら（キュレーター／京都市京セラ美術館アソシエイトキュレーター）、小林加代子（ウェブデザイナー／Studio Kentaro Nakamura）、ジェームズ・ムリウキ（アーティスト）、高橋和広（インストーラー／KUSUNOKI WORKS）、仲村健太郎（ブックデザイナー／グラフィックデザイナー／Studio Kentaro Nakamura）、西尾咲子（アートマネジメント／編集者／奈良県立大学客員准教授）

カリキュラム表

2022年 8月	8月－9月 企画構想ミーティング
	10月30日（日）プレゼンテーション講評会（金セッピョル）
	11月19日（土）プレゼンテーション講評会（国枝かつら）
	11月26日（土）トーク（小林加代子、仲村健太郎）
	12月 企画構想ミーティング
2023年 1月	1月 ワークショップ（高橋和広）
	1月 成果発表

